

まちづくり交付金 事後評価シート
徳島駅南北地区

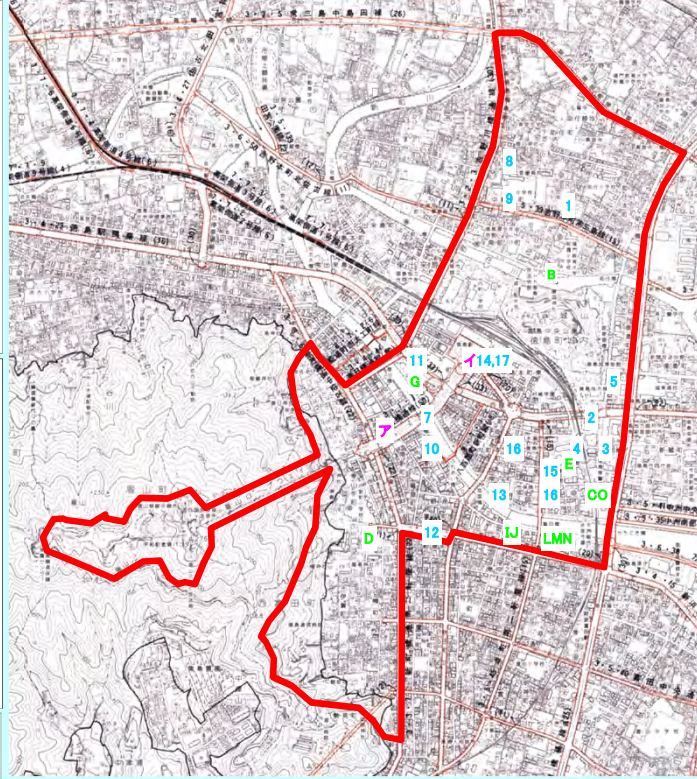








平成21年12月

徳島県徳島市

様式2-1 評価結果のまとめ

徳島県		市町村名		徳島市		地区名		徳島駅南北地区		面積	261ha									
交付期間		平成17年度～21年度		事後評価実施時期		平成21年度		交付対象事業費		1,297.2百万円	国費率	0.399								
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		①道路(吉野本町常三島線)②高質空間形成施設(阿波おどりシンボルロード周辺、吉野本町・北前川線、助任・前川本線、東船場線)															
	当初計画から削除した事業		提案事業		①地域創造支援事業(観光ガイドボランティア事業、下水道)②まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会支援事業)															
			事業名		削除/追加の理由															
			事業名		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響															
			事業名		代替事業を追加したため影響なし															
			事業名		影響なし															
新たに追加した事業		基幹事業		<p>[公園] ①新町橋西詰公園(第3回)</p> <p>[既存建造物活用事業] ②シビックセンター(第4回)</p> <p>[道路] ③上吉野・中前川本線(第5回)</p> <p>[高質空間形成施設] ④中・南前川線(第5回) ⑤新町橋・幸町線(第7回)</p> <p>[地域創造支援事業] ①ふれあい橋橋梁修景工事(第4回)</p>																
新たに追加した事業		基幹事業		<p>[道路]</p> <p>①寺島国道跨道橋(第1回) ②市道中洲・徳島線(第2回)</p> <p>③市道市役所前通り線(第5回) ④市道寺島東鉄道添線(第5回)</p> <p>⑤市道徳島・助任橋線(第5回)</p> <p>[高質空間形成施設]</p> <p>⑥紺屋町シンボルロード高質空間形成事業(第4回) ⑦市道徳島駅・西須賀線(一番町)(第5回) ⑧市道徳島駅・西須賀線(両国本町)(第5回)</p> <p>⑨新町川水際公園等改良事業(第4回) ⑩徳島駅前広場整備事業(バス乗降場) ⑪藍場町歩道橋修景工事(第1回) ⑫徳島駅前バリアフリー整備事業(第6回)</p>																
新たに追加した事業		提案事業		<p>[地域創造支援事業]</p> <p>①観光船運行事業(第3回) ②ひょうたん島PR船乗降場整備(第3回) ③徳島市立文化センター改修工事(第1回) ④とくしま観光魅力づくり事業(第1回) ⑤徳島市庁舎改修工事(第1回) ⑥映画ロケ誘致支援対策事業(第1回) ⑦徳島市農林水産展事業(第1回) ⑧阿波踊り観光客誘致対策事業(第1回) ⑨商店街ほっとスペース事業(第1回) ⑩パラソルショップ等活性化事業(第1回) ⑪商店街マネージメント活動推進事業(第1回) ⑫観光客誘致対策イベント事業(第1回) ⑬舞台「眉山」誘致支援事業(第7回)</p> <p>[まちづくり活動推進事業] ⑭中心商店街通行量調査事業(第1回)</p>																
交付期間の変更		当初		平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響														
変更		平成 年度～ 年度																		
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標		1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期					
			基準年度		目標年度		モニタリング		評価値		達成度									
	指標1		中心商店街への来街者数(平日)		14,500 H14		15,000 H21		—		8,900		△		あり		消費行動の変化により中心市街地は衰退傾向にあるが、来街者数は減少傾向に歯止めがかかった。		H22年10月	
	指標2		中心商店街への来街者数(休日)		18,373 H14		19,200 H21		—		8,300		△		あり		消費行動の変化により中心市街地は衰退傾向にあるが、来街者数は減少傾向に歯止めがかかった。		H22年10月	
	指標3		阿波おどり会館入場者数		544,770 H15		572,000 H21		—		587,000		○		あり		映画『眉山』公開により、観光イメージアップと交通利便性向上により入場者数が増えた。		H22年4月	
	指標4		眉山ロープウェイ利用者数		98,518 H16		108,400 H21		—		211,000		○		あり		映画『眉山』公開による観光イメージアップと、眉山でのイベント実施により利用者が増えた。		H22年4月	
指標5		空き店舗		47 H17		40 H21		—		66		×		あり		高速道路網整備、郊外型大型店舗の進出により空き店舗は増加傾向にあるが、空き店舗活用事業については利用者が増えている。		H22年10月		
指標5		空き店舗		47 H17		40 H21		—		66		×		なし						
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標		1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期					
			基準年度		目標年度		モニタリング		評価値		達成度※1									
	その他の数値指標1		ひょうたん島PR船延べ参加者数		13,580 H16		—		—		37,000		△		あり		映画による波及効果と、観光船の大型化により乗客数が増えた。		H22年4月	
その他の数値指標2		シビックセンター(ホール)利用件数		310 H16		—		—		495		△		あり		商業関連事業追加により入場者数が増加した。		H22年4月		
4)定性的な効果発現状況		<p>・従前の補助事業とは異なり、庁内で横断的な取り組みができたため、まちづくりについて共通意識を持つことができた。また、面的整備という新しい概念でのまちづくりを意識するようになった。</p> <p>・市民から今後のまちづくりに要望が寄せられたと同時に、徳島市在住の市民(100人)に対して独自アンケートをとった結果、中心市街地での道路については「通行しやすくなった」と感じている人が半数を超えた。</p>																		
5)実施過程の評価		実施内容				実施状況				今後の対応方針等										
モニタリング		なし				<p>都市再生整備計画に記載、実施できた</p> <p>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</p> <p>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</p>														
住民参加プロセス		シンボルロード周辺の商店街や企業を交えての阿波おどりロード委員会などの、常にロードに関連した取り組みなどを行えるような一体となった組織を設置				<p>都市再生整備計画に記載、実施できた</p> <p>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</p> <p>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</p>				2010年(平成22年)春にはLEDを活用したアート作品でまちを彩る「徳島LEDアートフェスティバル2010」を開催し、徳島の魅力を更に引き出し、新たな価値の創造を目指す。										
持続的なまちづくり体制の構築		阿波おどり勉強会など研修会を実施して観光客に対しても適切な案内のできる人材づくりを行う				<p>都市再生整備計画に記載、実施できた</p> <p>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</p> <p>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</p>				現在60名程度のガイドが登録されているが、将来的には100人程度まで増やしていきたい。最終的には、独自で運営可能なNPO法人化を検討中。										

様式2-2 地区の概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<p>中心市街地の活性化(中心軸の形成・観光都市にふさわしい「街の顔」の創生による賑わいの再生)</p> <p>目標1 徳島駅南北の中心軸を創造することにより、中心市街地へのアクセスの利便性及び文教地区への通学生等の安全性、快適性の向上を図る。</p> <p>目標2 「阿波おどり」にふさわしい「街の顔」を創造するため、シンボルロードを整備し、合わせて観光ガイドボランティアの活用により観光客の増加を図る。</p> <p>目標3 公園を再整備し、憩いと交流の空間を創生し、中心市街地の活気と賑わいの再生を図る。</p> <p>目標4 街路・市道・下水道の整備改善により来街者・通勤通学者の交通安全性、歩行者の快適性の向上を図ると共に良好な住宅地の形成を図る。</p>		中心商店街への来街者数(平日)	単位:人/日	14,500	H14	15,000	H21	8,900	H21
		中心商店街への来街者数(休日)	単位:人/日	18,373	H14	19,200	H21	8,300	H21
		阿波おどり会館入場者数	単位:人/年	544,770	H15	572,000	H21	587,000	H21
		眉山ロープウェイ利用者数	単位:人/年	98,518	H16	108,400	H21	211,000	H21
		空き店舗	単位:件	47	H17	40	H21	66	H21
<p>【基幹事業】</p> <p>1 道路 吉野本町常三島線</p> <p>2 道路 寺島国道跨道橋</p> <p>3 道路 市道中洲・徳島線</p> <p>4 道路 市道市役所前通り線</p> <p>5 道路 市道徳島・助任橋線</p> <p>6 道路 市道寺島東鉄道添線</p> <p>7 高質空間 阿波おどりシンボルロード周辺</p> <p>8 高質空間 吉野本町・北前川線</p> <p>9 高質空間 助任・前川本線</p> <p>10 高質空間 東船場線</p> <p>11 高質空間 藍場町歩道橋</p> <p>12 高質空間 紺屋町シンボルロード</p> <p>13 高質空間 新町川水際公園・ふれあい橋</p> <p>14 高質空間 徳島駅前バス乗降所</p> <p>15 高質空間 徳島駅西須賀線(1)</p> <p>16 高質空間 徳島駅西須賀線(2)</p> <p>17 高質空間 徳島駅前広場バリアフリー整備</p>				<p>8: 吉野本町・北前川線</p> 		<p>12: 紺屋町シンボルロード</p> 			
<p>【提案事業】(地域創造支援事業)</p> <p>A 観光ガイドボランティア(表記なし)</p> <p>B 下水道</p> <p>C 徳島市立文化センター</p> <p>D とくしま観光魅力づくり事業</p> <p>E 徳島市庁舎改修工事</p> <p>F 映画ロケ誘致支援対策事業(表記なし)</p> <p>G 徳島市農林水産展</p> <p>H 阿波踊り観光客誘致対策事業(表記なし)</p> <p>I 商店街ほっとスペース事業</p> <p>J パラソルショップ等活性化事業</p> <p>K 商店街マネジメント活動推進事業(表記なし)</p> <p>L 観光客誘致対策イベント事業(ひょうたん島PR船運航)</p> <p>M 観光船運航事業</p> <p>N ひょうたん島PR船乗降場整備</p>				<p>14: 徳島駅前バリアフリー整備(バス乗降所)</p> 		<p>E: 徳島市庁舎改修</p> 		<p>M: ひょうたん島PR船</p> 	
<p>【提案事業】(まちづくり活動推進事業)</p> <p>P まちづくり協議会支援事業(表記なし)</p> <p>Q 中心商店街通行量調査事業(表記なし)</p>				<p>13: 新町川水際公園(ふれあい橋)</p> 		<p>16: 徳島駅西須賀線</p> 		<p>C: 徳島市立文化センター</p> 	
まちの課題の変化	<p>・数値目標には達しなかったが、中心商店街への来街者数については下げ止まりを見ていることから事業効果が認められる。</p> <p>・観光関連の目標は達成されたが、LEDを活かしたイベント等を開催することにより、通年を通じての観光客増加を図る必要がある。</p> <p>・新町西地区市街地再開発事業については、中心市街地活性化には不可欠な事業であるため、事業の実現化を引き続き推進する。</p>								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>・中心市街地における基盤整備、主にバリアフリー関連の整備については未だ達成されてない部分も多くあるので、引き続きバリアフリー新法に基づく整備を推進していく必要がある。</p> <p>・新町西地区市街地再開発事業については、現在も膠着状態であるが中心市街地の活性化には不可欠な事業であるため、(仮称)音楽芸術ホールの整備を含めて引き続き推進していく必要がある。</p> <p>・空洞化する中心市街地を活性化させるため、公共施設や商業施設などさまざまな都市機能を、徳島市中心部に集積していく必要がある。</p> <p>・映画『眉山』により観光客は増加したが、一時的なもので終わらないようにするため、LEDアートフェスティバルなど各種イベント(ソフト事業)などを展開することで、継続的な観光客増加を図る必要がある。</p>								